

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成28年11月4日

施設名	森林研修センター情報交流館	所管課	林業振興・環境部林業環境政策課
-----	---------------	-----	-----------------

1 施設の概要

指定管理者名	情報交流館ネットワーク	指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町大平80		
事業内容	<p>(1) 森林及び木の文化に関する情報の収集及び提供並びに学習機会の提供 (2) 森林に関するボランティア活動等の支援 (3) 情報交流館の施設の利用の許可等に関する業務 (4) 利用料金の徴収に関する業務 (5) 情報交流館の施設及び設備の維持管理に関する業務 (6) 情報交流館の利用促進に関する業務 (7) 前各号に掲げるもののほか、情報交流館の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務</p> <p>※『森林並びに林業、木材産業及び木材関連産業の技術に関する試験、研究等を行うとともに、森林並びに林業、木材産業及び木材関連産業に関する情報の収集及び提供、研修等を行い、森林の有効活用並びに林業、木材産業及び木材関連産業の振興発展を図る』（森林総合センターの設置及び管理に関する条例第1条）</p>		
施設内容	<p>木造平屋建609.35㎡（木工室(54㎡)、研修室(54㎡)、シアター室(54㎡)、企画展示室(49.5㎡)、事務室(49.91㎡)、便所など） 開館時間：午前9時から午後5時まで 休館日：①月曜日（その日が国民の休日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その日後の直近の休日以外の日）、②休日の翌日（その日が日曜日又は休日に当たるときを除く。）、③12月29日から翌年の1月3日まで 主な利用料金：1時間につき、研修室・木工室・企画展示室300円（370円）、シアター630円（780円）、（ ）は休館日）</p>		
職員体制	常勤職員：3人 合計：3人		

2 収支の状況

単位：千円

		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(予算)
収入	県支出金	14,915	15,183	15,142
	利用料	116	127	130
	参加料	1,464	1,763	1,925
	交付金、助成金等	0	2,929	0
	その他	56	15	20
	収入計 (a)	16,551	20,017	17,217
支出	事業費	1,158	4,409	1,965
	管理運営費	3,939	4,555	3,882
	人件費	10,823	10,162	11,370
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	15,920	19,126	17,217
収支差額 (a)－(b)		631	891	0

3 利用状況

	平成26年度(実績)	平成27年度(実績)	平成28年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	11,428	12,486	12,000
		職員派遣事業等により施設外での対応実績人数(※H27から別途実績とする)	
		3,257	3,500
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <p>施設内に意見箱を設置、イベント時には参加者にアンケートを実施した。また来館者と積極的にコミュニケーションを図るなど直接声を聴く取り組みを行っている。利用申請のあった団体や学校に対し詳細な打合せを事前に行い、利用者のニーズを明確にするように努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内意見箱(常時・アンケート・回答24・調査結果:掃除の徹底、書籍の充実等の要望) ・イベント等でのアンケート(年8回(随時)・アンケート・回答総数273・調査結果:事業計画の時間配分、スタッフ間の連携への不満等) ・利用団体・学校からの意見(年42回(随時)・アンケート・回答総数60・調査結果:野外活動等で言葉だけでなく視覚的に伝える工夫の要望) <p>○ 利用者意見等を踏まえた対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の掃除を徹底し、清掃業者に委託する等美化に努めた。 ・図鑑等を購入し書籍コーナーの充実を図った。 ・受入れ参加者数等を見直し、時間的人員的に無理のない事業の運営に努めた。 ・野外活動で視覚的に理解してもらえるようパネル等を作成し、活用した。 		
③その他特記事項			

4 平成27年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた職員体制で、施設の管理運営を適切に行い、またネットワーク団体やボランティア、学生、施設等と連携を図り、利用者サービスの向上に努めている。 ・災害時の緊急対応を想定した避難訓練等を、一般来館者も含めて行うことが必要である。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金事業を活用し、里山林等のフィールド整備を行い、県民の安全な利用促進及び森林環境学習等で活用している。 ・森林環境学習プログラムの充実を図り、学校等のニーズに応えるレベルの高い事業を行っている。 ・他の施設との連携による協働事業を行い、質の向上を図っている。 ・設備の有り方や提供するコンテンツについて検討し、より良い学習の場の環境づくりが望まれる。 ・森林ボランティア指導者養成の成果が県内各地域の活動へと広がるような、機能強化に向けた検討が望まれる。
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者数は前年度より1,058人増の12,486人となった。 ・来館者数とは別に学校支援等による職員派遣事業等で3,257人の対応をした。
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金事業等の外部資金を積極的に活用し、財源の確保と事業等の充実が図られている。
総合評価	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林環境学習プログラムの充実を図り、学校等のニーズに応えるレベルの高い事業を行っている。 ・補助金事業等の外部資金を積極的に活用し、財源の確保と事業等の充実が図られている。 ・森林ボランティア指導者養成の成果が県内各地域の活動へと広がるような、機能強化に向けた検討が望まれる。 ・災害時の緊急対応を想定した避難訓練等を、一般来館者も含めて行うことが必要である。 ・利用者サービス向上のために、設備の有り方や提供するコンテンツについて検討し、より良い学習の場の環境づくりが望まれる。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの